

あなたの力で、国際シンポジウムと書籍執筆をやってみよう(募集通知)

1. 概要

総合生存学館では、文理融合・超学際研究に基づいて SDGs 達成に向けた解決策を提案するために、

- (1) 「京大生が考える SDGs 国際シンポジウム」の開催
- (2) 書籍「総合生存学の挑戦(仮題)」の出版

を行います。総合生存学館では、企画段階からイベント実施、研究発表の全過程において主体的に活動できる学生を求めています。全学の学生からの積極的な参加をお待ちします。学生が主体的に活動できるように、(1)については、「学生オーガナイザ」及び「トーナメント方式」、(2)については「学生エディタ」の3つを導入します。

2. 参加募集

自分の力で企画、実施、研究発表したい学生を求めます。京都大学の全ての大学院・学部の学生の皆さんが応募できます。応募学生は「(1)国際シンポジウムコース」または「(2)書籍出版コース」のいずれかを選択してください。詳細は、「3. 実施内容」をご確認ください。

締め切りは、2018年8月31日(金曜日)です。参加を希望する学生は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、総合生存学館国際シンポジウム担当(gsaissympo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)までお送りください。

3. 実施内容

(1)国際シンポジウムコース「京大生が考える SDGs 国際シンポジウム」(H30年12月)

申請種別:①学生オーガナイザ

②研究発表(口頭発表またはポスター発表、査読付き論文の出版)

SDGs をテーマとして、国際機関などの講師(招聘旅費、謝金)による招待講演、口頭発表、ポスター発表により構成します。さらに、全学の学生から口頭発表、ポスター発表の申し込みを募ります。

①学生オーガナイザ

「学生オーガナイザ」は、シンポジウムの企画立案と運営を学生主体で進めます。なお、企画チームと運営チームを合わせて20人とします(謝金支給あり。時給1200円)。

②研究発表(口頭発表またはポスター発表)

各々の「複合型研究会*」での議論を経て、発表者についてトーナメント方式により1次予選を行います。選抜された学生は、更に当該研究会にて研究を行い、研究会の上位に位置する「思修館懇話会*」での2次予選にて、10名程度のシンポジウム発表者を選抜します。

選抜された学生はシンポジウムで発表の後、シンポジウム開催後に論文を投稿し、査読を経て、社会科学系のジャーナル(特集号)から査読付き論文として出版できます。学生による査読管理補助は5人とします(謝金支給あり。時給1200円)。

(2) 書籍出版コース「総合生存学の挑戦(仮題)」の執筆

申請種別:①学生エディタ

②研究発表(原稿執筆)

学生と教員の共同執筆で、SDGsを対象とした生存学研究の最新成果を発信します。第1章は、社会問題の解決を目指す実践の学である総合生存学の要件を説明します。第2～第N章は「研究会」の主催教員が執筆します。第N+1章以降の章は、SDGs研究を対象にして、全学の学生から執筆計画を募ります。

①学生エディタ

「学生エディタ」は、書籍出版の企画立案と運営を学生主体で進めます。構成員は6人とします(謝金支給あり。時給1200円)。

②研究発表(原稿執筆)

各々の「複合型研究会*」での議論を経て、執筆者についてトーナメント方式により1次予選を行います(9月～10月)。選抜された学生は、更に当該研究会にて研究を行い、研究会の上位に位置する「思修館懇話会*」での2次予選にて、5名程度の書籍執筆者を選抜します(10月～11月)。

なお、原稿完成はH30年度末としますが、書籍出版はH31年度中を予定しています。

4. お問い合わせ先

質問などについては、総合生存学館国際シンポジウム担当(gsais-sympo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)までメールにてお問い合わせください。

* 「複合型研究会」と「思修館懇話会」については、別紙を参照ください。

「複合型研究会」と「思修館懇話会」について

1. 複合型研究会

(1) 目的

グローバル問題やユニバーサル問題について実践的かつ超学際的アプローチで研究を行う総合生存学では、細分化された知識を再構成するプロセスを明示化して、問題の設定と解決策の提案に取り組んでいます。そのために、学生と教員の自由な繋がりによる多様な教育研究を柔軟に行えるよう、教育研究上の目的に応じて組織編成が可能な複合型研究会を構築しています。

(2) 概要

学館内外の複数の教員・学生の参加，課題解決策型、分野横断型を特徴として、

- ①分野横断型・実践型の研究の推進とそれを通じた学生の指導
 - ②他部局、他機関、企業等との共同研究の推進
 - ③総合生存学の社会への発信
- を行います。

(3) 現在活動中の研究会*

①環境災害研究会

主催教員： 山敷 庸亮 <http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/tL0qH>

ホームページ： <http://www.envhazards.org>

②持続可能な経済研究会

主催教員： IALNAZOV, Dimiter Savov <http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/mF8mK>

ホームページ： <https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/research>

③資源・エネルギー政策研究会

主催教員： 櫻井 繁樹 <http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/tZ6sP>

ホームページ： <https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/research#03>

④ネットワーク社会研究会

主催教員： 池田裕一 <https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/pN6aW>

ホームページ： <https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/ikeda/>
<http://ikeda.gsais.kyoto-u.ac.jp/>

⑤国際開発研究会

主催教員： 高島宏明 <http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/qN7kV>

ホームページ： <https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/research>

⑥人工智慧研究会

主催教員： 趙 亮 <http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/gT9tC>

ホームページ： <http://aw.gsais.kyoto-u.ac.jp/>

⑦生の哲学研究会

主催教員： DEROCHE, Marc-Henri <http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/oW3gJ>

ホームページ： <https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/research>

⑧生涯発達と社会包摂研究会

主催教員： 積山 薫 <http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/1I9wI>

ホームページ： <https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/research>

* 8つの研究会以外に、新しく幾つかの研究会を追加すべく、検討を進めています。ご希望やコメントあれば、総合生存学館国際シンポジウム担当 (gsais-sympo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) までメールにて連絡ください。

2. 思修館懇話会

(1) 目的

各々の複合型研究会は、グローバル問題やユニバーサル問題について研究成果や解決策を提案します。しかし、これらの提案の間には、シナジーやトレードオフの関係性があると考えられます。そこで、これらの関係性を踏まえて、上位の概念に基づく総合的な解決策を議論する場として、思修館懇話会を設置します。

(2) 概要

複合型研究会の上位に位置づけています。1か月に1回のペースで、各研究会から教員と学生が話題を提供して、すべての参加者の間で自由に意見を交わします。総合的な解決策を得るための上位の概念、および系統的な方法論について研究を行います。他部局、他機関、企業等からの気軽なご参加を歓迎しています。

以上